

目黒区民センターでは毎年恒例の
目黒区商工まつり、通称【目黒リバーサイド
フェスティバル】が開催されていた。
六十回以上開催の歴史を誇り、区内企業が
自社製品の展示や販売、催しを通して区民と地域
の輪を広げるイベントだ。経済に関する講演会、
子どもたちの職業体験、全国各地の特産品
販売や飲食ブースなど多くの企業・団体が
参加し盛り上がっている。源内も発明品を出展する
との知らせを受けて取材に訪れた広報課Aさん。

〈中略〉

「これはなかなか面白い機械ですな」
振り向くとそこには、どこか見覚えのある老人。

役所の偉い人？議員さん？と記憶を辿る

Aさんだったが、ふと思い出し慌てて

財布を探す。取り出した一万円札と

目の前の老人を見比べながら

「やっぱり！渋沢栄一さん！」

「いかにも渋沢です」

〈中略〉

「私は日本の未来に必要なだと思ふ事業を
次々と立ち上げてきました。こうして
目覚ましい発展を遂げた百年後の
日本に来て、その行いは間違っていなかった
と確信できました」

「渋沢さんが設立に携わった会社は今も
続く大企業ばかりですね」

「しかし現代の人の多くは、成功や失敗に
こだわらず他人よりもたくさんお金を稼ぐ
ことだけに囚われているように見えます。
一個人の利益になる仕事よりも、多くの
人や社会全体の利益になる仕事をすべき
だと思ふのです」

〈中略〉

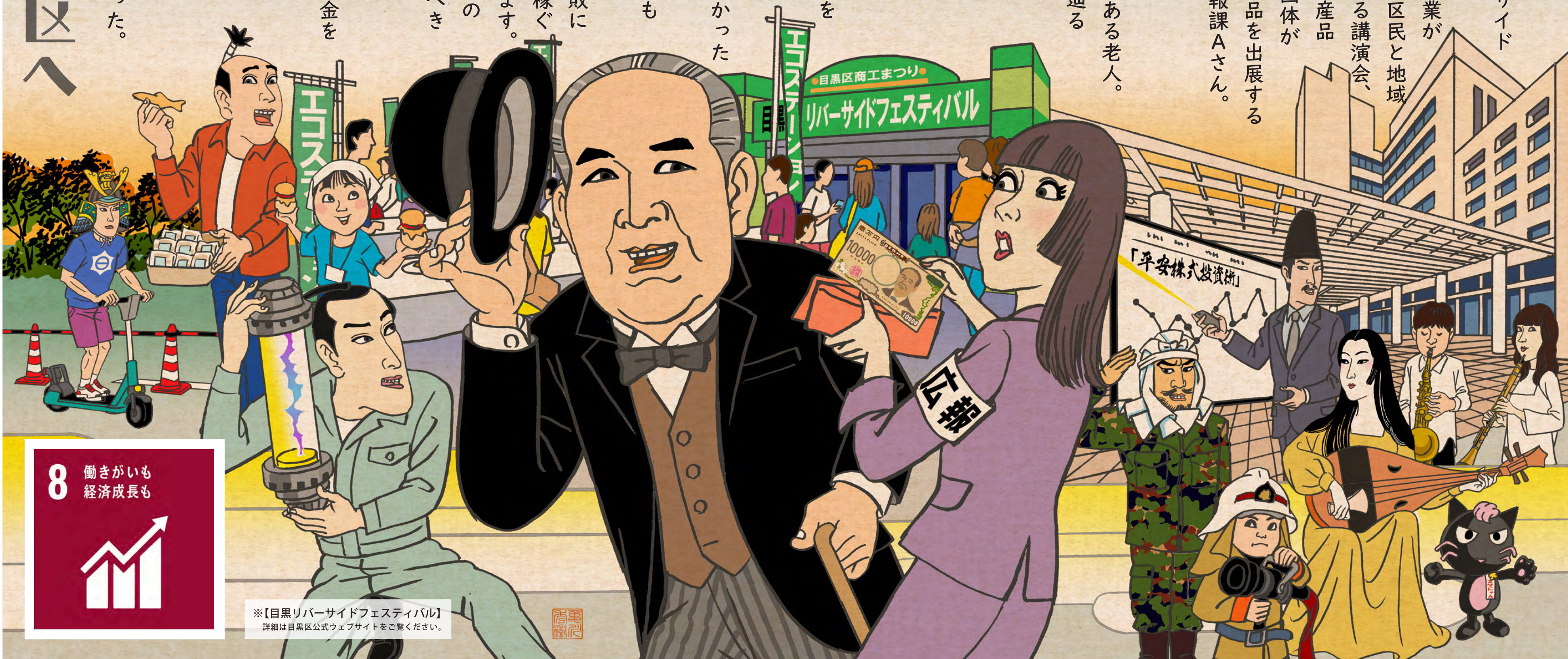
「好きなこと楽しいことになるべくお金を
使いましょう。溜め込んでいては
経済は停滞する一方です」

「金は天下の回りものって言うしな」

源内も同意を示すように膝を叩いた。

かくして目黒区に新たな住人が加わった。

ようこそ目黒区へ



8

働きがいも
経済成長も



※【目黒リバーサイドフェスティバル】
詳細は目黒区公式サイトをご覧ください。

